



大矢崎緑地公園の道向かいには、縄文時代の大矢遺跡（県指定史跡）が広がっています。

この遺跡の発掘調査で出土した貴重な遺物は、県の重要文化財に指定されており、本渡歴史民俗資料館で見ることができます。

遺物には動物の形をした獣形土製品、土偶、岩偶、蛇の装飾が施された土器、スタンプ形土製品などの東日本由来のものや、組み合わせ式の石銛やオサンリ型結合釣針という朝鮮半島との交流を示す道具があり、これらに加えて黒曜石や土器が数多く出土しています。

土偶は、九州で初めて出土したものとして知られており、オサンリ型結合釣針も日本初の出土として注目されています。五千年以上も前から天草は人やモノの交流が盛んに行われており、遺物から大矢遺跡がその拠点だったことがうかがえます。



天草
文化財探訪

地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。天草市には206もの指定・登録文化財があります。今回は、考古資料をご紹介します！

文化課 ☎ 32-6784



棚底地区の史跡を通じて
 地域の良さを伝えていきたい

「くまもと県民文化賞を受賞できるなんて思っていなかった。今後もこの賞に恥じないような活動を続けていきたい」。そう話すのは棚底地区振興会会長の稲津千明さん。同会は、地域の文化振興に貢献する活動を継続して行ってきたことが評価され、令和4年3月に同賞を受賞した。

同会は平成18年に設立され、現在は会員75人で活動している。発足当初、同地区にある資源を生かしたイベントができないかと考えたところ、民家の風除けとして築かれた「石垣群」や水田用の地下式農業用水路「こぐり」など、同地区にたくさんある史跡を巡るイベントを企画。当時の役員などでコースを考え、平成18年に「棚底探検隊」としてスタートし、現在も「棚底史跡めぐり&ウォーキング」として毎年開催している。当初は地域住民30〜40人が参加する程度だったが、新型コロナウイルス感染症が流行する前は市内外から200人を超える人が参加するまでになった。「昨年参加した人が翌年に友達を連れて参加してくれてうれし」と笑顔で話す稲津さん。リピーターも多く大盛況だそう。

同ウォークに欠かせないのが、史跡を案内するガイド。これまで史跡に詳しい役員1人で対応してきたが、参加人数の増加や市内のホテルなどから史



倉岳町棚底地区振興会
 (倉岳町棚底)



1 棚底城跡で説明を受ける同ウォーク参加者
 2 同地区案内人の会の現地研修
 3 こぐり

跡めぐりのガイドを依頼されることが増え、ガイドを養成するための研修会を実施した。現在は、現地研修を終えた5人を中心に活動しており、令和3年3月には「棚底案内人の会」を設立。今後は、それぞれの史跡専門のガイドを養成していきたいと考えているそうだ。

地域資源を生かしたまちづくりだけでなく、平成21年7月に国指定史跡に登録された「棚底城跡」の維持管理として定期的な見回りや草刈りを行うほか、棚底城跡の発掘調査状況などを同地区振興会の会報に毎月掲載して情報発信している。

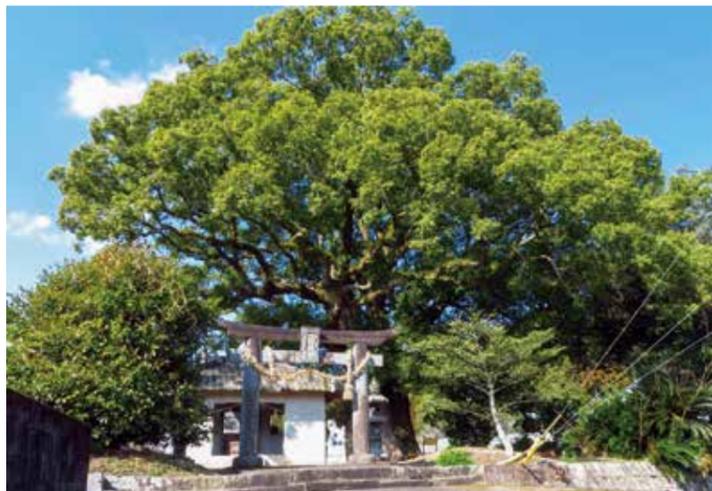
「たくさんの人に訪れてもらい、歴史や文化など、地域の良さを発信していきたい」と話す稲津さん。同地区を巡り、歴史や文化をぜひ、肌で感じてほしい。

天草 見どころ図鑑

上野原神社の境内にあるクスノキは高さ約20m、幹回りは約7mあり、天草地域でも屈指の大きさを誇ります。樹齢約500年といわれており、古くから御神木として崇められ、合併前の旧五和町では町の木に指定されていました。

★ここに注目

神社の裏を流れる川の対岸にある「地域交流センターおおくす」の名称は、このクスノキが由来です。



かみのほら
 上野原神社の大クス (五和町城河原)